

IV 基本施策ごとの取組

① 環境を守り継ぐ

- 自然を守り、地球環境に配慮したライフスタイルを、ともにつくっていきます。

達成目標（状態像）	達成度の指標
自然を守り、地球環境に配慮したライフスタイルが区内に広く行き渡っている。	京（みやこ）エコドライバース宣言数* 200件（平成21年度）→ 2,000件 エコドライブ推進事業所数* 23件（平成21年度）→ 150件

※車の運転方法を少し変えるだけで車の燃料が1～2割改善する「エコドライブ」。

その取組を宣言し実践する方（個人）を募集しているものです。

※環境にやさしく経費削減にもつながる「エコドライブ」を積極的に実践し、その普及啓発も行っていただく事業所を募集しているものです。

区民と行政の共汗・協働プロジェクト

山科・うるおい空間づくりの展開

「山科・うるおい空間づくりの3原則」のもとで、だれもが心地良いまちをともにつくっていきます。

山科・うるおい空間づくりの3原則

森林と清流，そこに住む生き物を大切にする



水と緑をまちと暮らしに積極的に生かす



知恵と工夫で無駄を減らし、山科を美しく保つ

区民の共汗・協働アクション！

- 「環境」についてよく学ぶ。
- ホタルの生息環境を守る。
- 花と緑の回廊をつくる。
- まちと暮らしを花と緑で彩る。
- 省エネ・省資源に努める。
- 新エネルギーを暮らしに生かす。
- ごみを減らし、きちんと分別する。
- まちをきれいに保つ。



ホタルの住む川の水質調査

(1) うるおい・自然を大切にする

★山科の地の恵まれた自然を守り生かして、水と緑のうるおいに満ちた都市環境・生活環境をつくっていきます。

① まちの水・緑の充実

- 区内を流れる河川・疏水を軸として、区民生活に身近な水と緑のうるおい空間の創出・充実を図ります。
- 地域ぐるみでまちを花と緑で彩るため、「花いっぱい運動」の取組を一層進めるとともに、「グリーンカーテン運動」などの取組も進めていきます。



山科区フラワーロード推進事業

③ 自然環境の保全・回復

- 山科の地にもともとあった生態系・生物多様性を尊重しながら、残された自然環境の保全を図り、また、ひとの暮らしとともに森林・河川の環境を守っていきます。
- 環境にかかわる市民活動を促進・支援し、河川美化に努めて、ホテルの飛び交うまちづくりを進めていきます。
- 市が選定する「京の山杣人（そまびと）工房*」の山科区モデル工房「自然住宅情報ひろば」を窓口として、森林資源を有効に生かした住まい・まちづくりの推進を図ります。

② 公園・緑地等の整備と適切な管理



六兵工池公園

- 公園・緑地等の整備を図り、公園愛護協会や地域住民とともに適切な維持・管理を行います。



山科川



ゲンジボタル



コサギ

主な取組における、区民と行政の活動のイメージ

山科のまちを花いっぱい

- 区民**
 - 四季折々、住宅周り等を花と緑で飾ります。
 - 区民ボランティアとして、区役所前広場や道路脇への花の植栽を行います。
- 行政**
 - 区民ボランティアを公募し、花の植栽をコーディネートします。
 - 区民や企業等に、植樹への協力（花の回廊募金）を呼びかけます。

※京の山杣人（そまびと）工房：市域の民間店舗や施設を活用し、市内産材を使用したリフォームモデル施設「京の山杣人工房（森の窓口）」を各行政区に1箇所ずつ設置しています。山科区は、四ノ宮地区に1箇所あります。本施設を拠点にして、建築家や林業家も加わった市民グループの育成や、市民による森のワークショップの定期的な開催、市内産材を利用したリフォームの普及啓発が行われています。

(2) 地球環境問題対策のため行動する

★「DO YOU KYOTO? (環境にいいことしていますか?)」を合言葉に、地球環境問題の解決に結び付くライフスタイル・事業活動等を実践していきます。

① 低炭素社会づくりによる地球温暖化対策の推進

- エコ活動の輪をさらに広げるため、「DO YOU KYOTO?」プロジェクト*に区全体で取り組み、地域ぐるみの省エネルギー・省資源を実践するなど、都市活動全般を通じたエコアクションを総合的に展開します。
- 区全体でライフスタイルの見直しを進めることにより、脱「クルマ中心」社会による「歩くまち・京都」の実現を図っていきます。



- 空調の温度設定の適正化や照明消費電力の低減等、区民生活や事業活動における省エネルギー、また、太陽光や森林バイオマス等の再生可能な新エネルギーの積極的な利用を進めます。
- 国際規格ISO14001やKES等の環境マネジメントシステムの普及・認証取得等、環境に配慮した事業活動への転換を図ります。



太陽光発電 (大宅中学校)

「歩くまち・京都」憲章

わたしたちの京都では、市民一人ひとりは、

1 健康で、人と環境にやさしい、歩いて楽しい暮らしを大切にします。
そして、市街と行路が一体となって、

1 だれもが歩いて出かけたくなる道路空間と公共交通を整え、賑わいあるまちを創ります。

1 京都を訪れるすべての人が、歩く魅力を満喫できるようにします。

主な取組における、区民と行政の活動のイメージ

地球温暖化対策を推進

区民

- 空調の温度設定の適正化や照明消費電力の低減等、区民生活や事業活動における省エネルギーに努めます。
- 太陽光や森林バイオマス等の再生可能な新エネルギーの積極的な利用を進めます。
- 「歩くまち・京都」の推進のため、マイカー利用を減らして公共交通機関を利用します。

行政

- 環境に配慮した事業活動への転換を率先して行います。
- 国際規格ISO14001やKES等の環境マネジメントシステムの普及・認証取得へのアドバイス等、区民や企業が行うさまざまな環境保全活動の促進・支援を図ります。
- 区民や地域が行う省エネルギー・省資源を実践する活動の支援や、家庭におけるCO2排出量の「見える化」の促進等を行います。

*「DO YOU KYOTO?」プロジェクト：京都議定書の発効にちなんで、世界で「DO YOU KYOTO?」は「環境にいいことしていますか?」という意味の合言葉として使われています。京都市では、エコ活動の輪をさらに広げる取組を、市民とともに展開しています。

(3) ごみを減らし、まちをきれいにする

★省資源・資源循環型社会づくりの取組、また、環境美化を進めていきます。

① ごみの発生抑制と資源循環型社会の構築

- 資源物の分別の徹底とコミュニティ回収の推進等、区民生活や事業活動におけるごみ減量・リサイクルを推進します。また、省資源並びにごみの発生抑制とリユース・リサイクルの総合的な取組を推進していきます。



乾電池回収ボックス



使用済つばら油の回収



山科区2万人まち美化作戦

② 廃棄物対策の充実と環境美化

- 東部山間埋立処分地（エコランド音羽の杜）の維持管理や状況把握に努めて、廃棄物の適正処理を行うとともに、クリーンキャンペーンや不法投棄防止のパトロール等、環境美化の諸活動に取り組んでいきます。



東部山間埋立処分地 (エコランド音羽の杜)

主な取組における、区民と行政の活動のイメージ

まち美化とごみ減量

区民

- 区民や事業者等が率先して、門掃き等の近隣の清掃を行います。
- 各学区の自治連合会が中心になり、「山科区2万人まち美化作戦」などの一斉清掃や門掃き等を行います。
- 生ごみコンポスト容器を利用して生ごみを減らすなど、各家庭でのごみ減量に取り組みます。

行政

- まち美化やごみ減量の取組において、各団体等への支援や広報活動等を行います。
- 区内にごみ減量の輪を広げていきます。

(4) 環境について学ぶ

★学校教育や生涯学習等、さまざまな分野・活動を通じて、区全体で「環境」についての学びを深めていきます。

①環境学習の充実

- 環境に対する意識の高い次世代の育成、また、子どもを通じた大人への環境意識の普及を重視し、学校教育において、体験型の環境学習活動を一層充実させていきます。
- 「山科区エコアクションNo.1宣言※」を踏まえた環境イベントの展開、また、多様な環境学習機会の提供によって、環境に対する意識を高めていきます。



小学校でのこどもエコライフチャレンジ



エコバスツアー（廃食用油燃料化施設）



山科区エコアクションNo.1宣言

主な取組における、区民と行政の活動のイメージ

「環境」をともに学んで、エコライフ実践を展開

- | | |
|------------------|--|
| <p>区民</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●山科のまちを生かした多様な学習機会を有効に活用し、「環境」について学び、区民一人一人から、また、それぞれの地域から、エコライフ実践を展開していきます。 |
| <p>行政</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●「環境フォーラム」や「市民環境講座」、「環境学習エコツアー」、「環境学習出前講座」等を通じて、環境学習活動を積極的に展開します。 |

※山科区エコアクションNo.1宣言：京都市内で最もエコアクションが進んだ行政区をめざし、平成20年度から、山科区自治連合会連絡協議会の主催により、各家庭における地球温暖化対策や2R（ごみの発生抑制、再使用）の推進を図る取組を行っています。

② まちの魅力・観光を磨く

- 山科のまちの魅力資源を磨き高めて、区内外への総合的な発信を図っていきます。

達成目標（状態像）	達成度の指標
いろいろなひとが、山科に親しみ、まちと暮らしを存分に楽しんでいる。	達成目標についての区民の意識（「そう思う」+「ややそう思う」の割合）50%以上

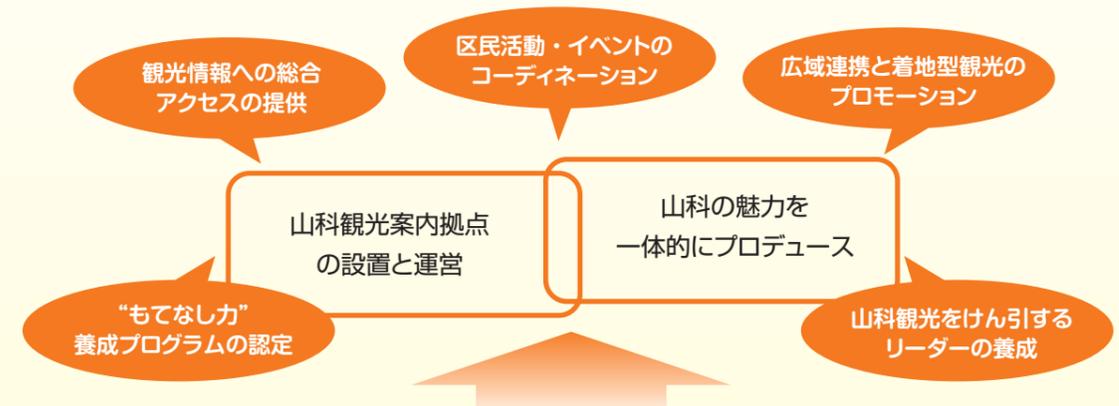
※達成目標について、区民がどのように思っているかを、「そう思う」、「ややそう思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の4段階の評価等によって把握し、肯定的な意見の割合が過半数となることを目標とするものです。

区民と行政の共汗・協働プロジェクト

山科観光案内拠点の設置運営と“もてなし力”の向上

山科観光の総合的な案内拠点を設置するとともに、全体の取組の推進体制の整備を図りながら、区民一人一人の“もてなし力”アップの取組を展開し、さらなるまちの魅力アップと観光振興を進めていきます。

“もてなし力”を高めて、山科観光の次のステージをつくる



大学・学生

おこしやす
“やましな”協議会

各種団体

区民の共汗・協働アクション！

- ともにまちを学び区内外のひととのふれあいを楽しむ。
- 山科の魅力資源を創出・発掘・再発見し、結び付ける。
- 区民一人一人が、“もてなし力”を高める。

〈みんなで観光振興の仕組みを共有する！〉

社寺・伝統産業

商店街・企業

ボランティア、
NPO等市民活動

(1) 山科の魅力・観光を育てる

★今ある資源を守り生かし、また、新たに創出し、山科のまちの魅力と観光を育てていきます。

①山科の魅力の発信

- 各種のガイドブックやマップ、インターネット等を有効に活用するとともに、清水焼による陶灯路の設置をはじめ、ウォークラリーやスタンプラリー等の“歩いて楽しい山科体感型”イベントの展開等を通じて、山科の魅力の発信を強めていきます。



京都・やましな観光ウィーク（勤修寺及び随心院、11月）おこしやす“やましな”協議会によるキャラバン隊の派遣

②歴史資源等の 保全・活用と新たな魅力づくり

- 区内に多くある遺跡・史跡等の歴史資源、市民に親しまれている一定の樹木等の適切な保全・保存を図るとともに、それらをまちの魅力・観光資源として一層活用していきます。
- 山科・醍醐地域を中心に、宇治市、大津市等とも連携し、数々の歴史物語などをテーマに、一体的な観光振興を展開していきます。

- 自然、歴史、物産、文化的行事、商業集積等の多様な地域資源を再評価し、テーマやシンボル・キャラクターの活用等、集客力のあるイベント、商品やサービス等の開発と多角的な展開を図ります。



もてなすくん*

③観光基盤の整備

- 観光基盤の核としての観点から、山科駅周辺地区の拠点性の強化とともに、既存の商店街や幹線道路等沿道型店舗の調和ある振興を図ります。
- 一定の観光資源が集積する地域等について、「京都の東の玄関口、山科」を着地型観光の新たな拠点として機能を強化していきます。
- 地下鉄等を活用した観光ルートやサイクリング・ロード、バス路線、駐車場等の整備・充実により、観光客を山科の魅力・観光資源へ円滑に導く観光交通アクセスの確保・充実を図っていきます。
- NPOや観光ボランティア、商店街等の活動と連携するなかで、観光情報・案内の総合的・一元的な提供等、“もてなし力”の向上を図っていきます。

主な取組における、区民と行政の活動のイメージ

山科観光の充実

区民

- 山科区ガイドマップ等を生かして、街角で“おこしやす”の心で観光客を快く案内します。
- 関係団体においては事業を企画し、区民においては事業に参加して、山科の魅力を広げていきます。

行政

- 各種関係団体と連携し、山科観光インフォメーションの充実を図ります。

※もてなすくん：山科区の伝統野菜である山科なすをモチーフにして、山科地域商業ビジョン推進委員会により考案され、軒先に「もてなすくん」の風船をつるす店舗等が広がっているほか、ストラップ等も販売されています。

(2) 伝統産業・農業を守る

★清水焼をはじめとする伝統産業の集積、また、山科なす*等の地場産品、観光農園等の地域資源を守りつつ、積極的にPRし、山科の魅力・観光資源として一層生かしていきます。

①伝統産業の活性化と観光活用

- 清水焼団地等の伝統産業の活性化を進めるとともに、定期市の開催等、観光資源の位置付けからの新たな展開を図っていきます。

②農地の保全と観光農業の展開

- 区内に残る生産緑地について、安全な農産物の生産の場としての保全を図り、農産物の学校給食への積極的な使用や消費者グループの形成等、食育や地産地消の取組をさらに進めていきます。
- まちのうおい資源・防災空間としての位置付けのもとで、農地空間の適切な保全を図っていきます。
- 市民農園や観光農園で、だれもが気軽に「農」に触れ、体験し楽しめる場としての充実を図り、観光・レクリエーションによるさらなる利用を進めていきます。



山科なす



陶器まつり（清水焼団地）

③伝統産業・農業の担い手支援

- 区内の伝統産業や農業について、産業・職業としての価値と魅力を高めることを支援するとともに、それを広く区民に発信し、後継者の確保・育成につなげていきます。



京扇子の製作



清水焼の製作



京仏具の製作

主な取組における、区民と行政の活動のイメージ

農空間の保全・活用と地産地消

区民

- うおい・防災・観光等にわたる農空間の多面的機能についての理解を深めます。
- 安全で新鮮な地元農産物を積極的に購入し、地産地消に努めます。

行政

- うおい・防災・観光等にわたる農空間の多面的機能について、知識普及と意識啓発に努めます。
- 地元農産物のPR活動とあわせて、農業サポーターの育成等の側面支援を行います。

※山科なす：京野菜のひとつで、山科特産の卵型のなす。果皮が薄いのに煮崩れしにくいことから、煮物などに適します。

(3) 文化・学びを豊かにする

★わがまち山科の魅力と未来を語る事ができる子ども、また、地域のさまざまな資源に親しんで学びを楽しむ区民が増えるよう、さまざまな機会の充実を図ります。

①わがまち山科を知る機会の充実

- ひとに対して山科の魅力を語り、山科の未来を拓く区民が増えるよう、学校教育等において山科の地域資源に触れて学ぶ機会を豊富に用意し、子どもに、“わがまち山科を愛する心”を育んでいきます。



はねず踊り（随心院，3月最終日曜日）



二の講（二九）
（小山地域，2月9日）



区民史跡の探訪

②生涯学習活動の展開

- アスニー山科（京都市生涯学習総合センター山科）などにおける各種講座・教室等の場と機会づくり、また、山科図書館等の学習支援資源の充実により、多様な生涯学習を展開します。
- 京都市生涯学習情報検索システム「京（みやこ）まなびネット」を活用した生涯学習情報の受発信の充実を図るとともに、諸活動のネットワーク形成、リーダー養成等に努めます。



学びのフォーラム山科
（アスニー山科）

③文化・芸術活動の振興

- 区民の文化・芸術活動の拠点である、京都市東部文化会館をさらに生かしながら、“山科発”の取組の振興と区内外への発信を図っていきます。
- 上質な文化・芸術を鑑賞できる機会の充実により、これらに積極的に親しみます。



区民ふれあい文化祭（東部文化会館，2月）

主な取組における、区民と行政の活動のイメージ

生涯学習社会づくり

- 区民**
 - 人生を豊かなものとするため、生涯を通じて学びます。
 - 生涯学習活動を行ううえで、京都市生涯学習情報検索システムを有効に活用します。
 - さまざまな文化・芸術活動に積極的に親しみます。
- 行政**
 - 講座等の生涯学習支援の取組を十分にPRし、参加者を募ります。
 - 生涯学習に係る情報を積極的に収集し、その早期の発信に努めます。
 - 各種団体の活動を集約してとらえるなかで、側面からの総合的支援を行います。

(4) 遊び・スポーツを楽しむ

★区民の主体的なスポーツ・レクリエーション活動の振興を図ります。

①区民スポーツの振興

- 地域体育館における初心者向けスポーツ教室の開催や、各学区でのスポーツ同好会活動の促進をはじめ、小中学校のグラウンドの夜間開放等、気軽にスポーツを楽しめる場と機会の充実により、区民の健康づくりにも資する、スポーツの振興を図ります。



グラウンド・ゴルフ



各学区の区民運動会



少年サッカー大会



区民チャンピオン大会
（女子バレーボール）



区民歩こう会

主な取組における、区民と行政の活動のイメージ

スポーツ・レクリエーションの振興

- 区民**
 - 区民スポーツ大会等の各種スポーツ・レクリエーション活動に気軽に参加し、仲間をつくりながら楽しめます。
 - 研修機会を活用し、地域のスポーツ・レクリエーション活動を活発にするために必要な役割を積極的に担います。
- 行政**
 - より多くの区民の参加が進むよう、企画・実施・広報活動を行います。
 - 指導者研修等の実施をはじめ、各種団体や区民とのネットワークを生かすことで、地域のスポーツ・レクリエーション活動の展開をリードする人材を育成していきます。

③ 交通・都市基盤を強化する

- 道路・交通環境の利便性と快適性を向上させながら、災害に強く、都市的環境と住環境の調和したまちをつくっていきます。

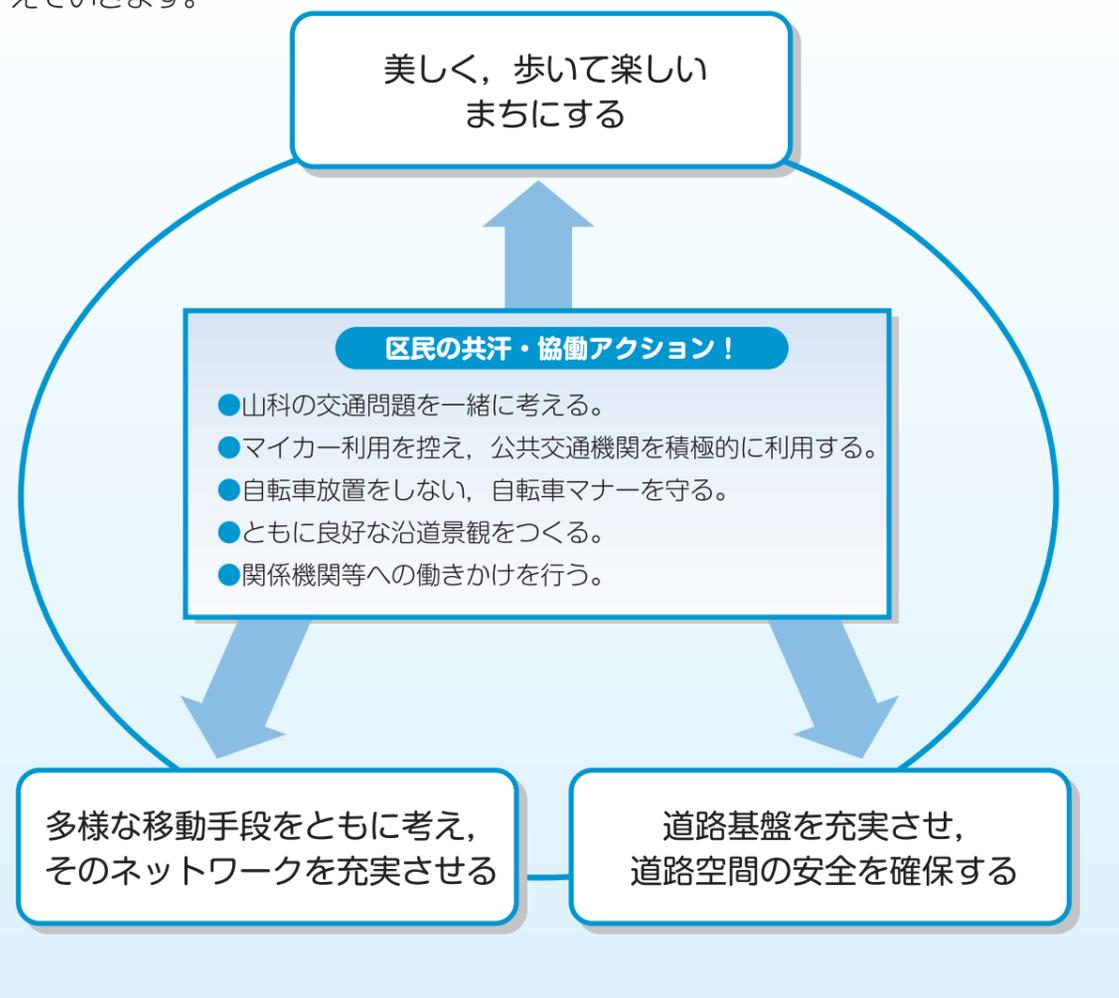
達成目標（状態像）	達成度の指標
都市的環境と住環境の調和した、安心安全で便利なまちとなっている。	地下鉄の旅客数（1日当たり） 4万人（平成21年度）→ 6千人増*

*京都市全体の地下鉄旅客数の指標数値（目標値5万人増）を基に、山科区内の地下鉄駅旅客数の割合から目標値を単純に算定しています。なお、山科区内には東西線17駅中5駅があります。

区民と行政の共汗・協働プロジェクト

みんなで山科の交通問題を考える

加齢や障がいのために移動に制約があるひとを含めて、だれもが安全で便利なまちで気持ち良く生活できるよう、区内の道路・交通環境と区民の生活行動をともに変えていきます。



(1) 道路を快適にする

★まちの骨格となる幹線道路網について、交通問題の解消を図るとともに、「歩いて楽しい」まちの基礎として、安全で快適な道路空間の整備を進めます。

① 幹線道路網の交通対策

- 阪神高速8号京都線の完成や第二京阪道路の供用開始に伴う交通量の増加予測も踏まえて、幹線道路の慢性的な交通渋滞の緩和、生活道路への通過交通の流入対策、また、緊急輸送道路等の確保を図ります。
- 国道1号の交通渋滞を緩和するため、阪神高速8号京都線「稲荷山トンネル」の利用促進を図ります。



稲荷山トンネル（平成20年6月開通）

② 安全で快適な道路空間の整備

- 「『歩くまち・京都』総合交通戦略」や「改訂京都市自転車総合計画」を踏まえて、歩行者や自転車利用のひとが安心して気持ち良く利用できる道路空間づくりと沿道アメニティの向上を図ります。

③ 山科を楽しめる歩行者ネットワークの整備

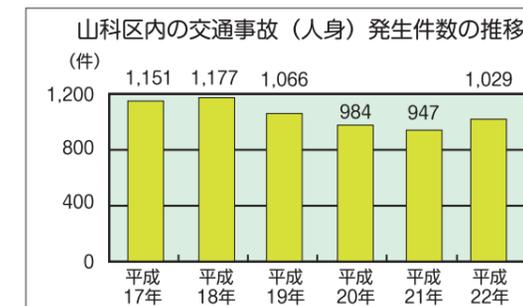
- 水辺の空間を軸とした、山科の歴史・文化資源等をつなぐ歩行者ネットワークの充実を図ります。

④ 交通安全対策の強化

- 違法駐車、放置自転車対策のための啓発やパトロール等を行うとともに、交通安全施設の整備促進、交通安全と自転車マナーの教室等の地域ぐるみの交通安全対策の充実を図ります。



交通安全教室



主な取組における、区民と行政の活動のイメージ

総合的な交通安全対策

- 区民**
 - 子どもや高齢者に対する交通安全教室等に参加し、区内の交通安全の向上に努めます。
 - 違法な駐車・駐輪をせず、定められた駐車場・駐輪場を適切に利用します。
- 行政**
 - 区民が交通安全や自転車マナーの教室等に参加しやすいよう、適切な広報活動等を行います。

(2) 交通環境を便利にする

★鉄道整備によって向上した交通利便性を、すべての区民の生活利便性に結び付けていくため、総合的な交通システムの充実を進めます。

①公共交通ネットワークの充実

- 「山科区交通問題研究会」における取組を受け、区内公共交通ネットワークの充実に向けたコミュニティバスの導入検討等、区の交通問題を解決するための対策を検討していきます。
- 環境負荷が小さく効率的な移動手段である地下鉄の積極的な利用に努めつつ、公共交通ネットワーク全体の充実を図っていきます。



山科区交通問題研究会



京都市営地下鉄東西線



山科地区循環バス ぐるり200



山科駅前駐輪場

②パークアンドライド／サイクルライド*の促進

- 都市部・観光地への自動車流入の抑制と環境負荷の低減のため、パークアンドライド／サイクルライドの普及と地下鉄等の公共交通機関の利用を促進します。
- 区民・観光客等がレンタサイクルを気軽に利用できるよう、必要な環境・サービスの充実に向けた取組の支援を行い、レンタサイクル利用の普及を図ります。

主な取組における、区民と行政の活動のイメージ

便利でやさしい公共交通ネットワークの研究

- 区民**
- 負担と便益の関係等を学び、ともに意見を交わしながら、区の交通問題の改善を図ります。
 - 安易に自家用車を用いず、パークアンドライド／サイクルライドに心がけて、積極的に地下鉄等の公共交通機関を利用します。
- 行政**
- 「山科区交通問題研究会」の取組を受け、区の交通問題の改善に取り組んでいきます。
 - 大型商業施設等と連携のもと、パークアンドライドを実施していきます。

*パークアンドライド／サイクルライド：交通渋滞の緩和や環境負荷の低減のため、マイカーから電車・バス・地下鉄、あるいは自転車に乗り換えて目的地まで移動することです。

(3) 都市環境を充実させる

★修復・修正型のまちづくりによる区民生活の安心確保を前提に、利便性の高い、美しい都市環境・生活環境をつくっていきます。

①災害に強い都市構造の形成

- 地震や風水害、火災等の災害時に強い都市構造とするため、河川・排水路の整備・改修等の必要な治水対策を行うとともに、防災情報を提供できるよう、通信体制を整備します。また、建築物等の耐震化や狭小宅地の改善の促進、市街地内のオープンスペース（空地）の確保等を図っていきます。



四ノ宮川の治水工事

- 「山科区防災活動計画」に基づいて、災害時のライフライン確保に向けて取り組みます。

②魅力ある拠点づくり

- 「京都市都市計画マスタープラン*」に基づき、山科駅周辺地区において、都市拠点としての充実を図っていきます。
- 御陵、東野、柳辻、小野、四ノ宮地区等、鉄道駅を中心としたそれぞれの地区において、商店街の活性化に努め、特色ある生活拠点の形成をさらに進めていきます。

③良好な景観の保全と創出

- 自然景観・歴史的景観の保全、また、都市景観の創出を図り、これらを山科の魅力・観光を育てるなかになかしていきます。
- 「京都市屋外広告物等に関する条例」に基づいて、広告物の規制・指導を行うとともに、啓発活動等、地域ぐるみの取組展開を図っていきます。



ラクト山科

主な取組における、区民と行政の活動のイメージ

安心安全の都市環境づくり

- 区民**
- 地域ぐるみで、防災情報の共有を図ります。
- 行政**
- 都市防災力の向上のため、必要な整備に努めます。
 - 地域との連携を密にし、迅速な情報収集と伝達ができるよう通信体制を整備します。

*京都市都市計画マスタープラン：都市計画マスタープランは、都市計画の基本方針となるものであり、住民意見を反映させながら、長期的な視点に立った都市の将来像やその実現に向けての方針を明らかにするものです。京都市では、平成14（2002）年に策定した「京都市都市計画マスタープラン」に基づき、平成37（2025）年を目標年次とする都市づくりを進めています。